

UTB-10

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書の取扱説明をよくお読みください。本機が正常に動作しない場合は、いつでも見られる場所に保管してください。本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド 054-0014-000 (J)

絵表示について

- この「絵表示」には、お使いになるかたや他人への危害や財産の損害を未然に防ぐ。安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の図(表示と意味)をよく理解してか本文をお読みください。記載事項をお守りください。
危険 この表示を無視して誤った取扱をすれば、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告 この表示を無視して誤った取扱をすれば、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意 この表示を無視して誤った取扱をすれば、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示の例
記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の右側に具体的な注意事項を示しています。
記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中央や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。
記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中央や近くに具体的な指示内容(右図の場合は電源プラグをACコンセントから抜く)を示しています。
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に発生した故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって発生した損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険
使用環境・条件
引火、燃焼の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
運搬しながら本機を操作(送信)するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(送信)してください。

充電電池(バッテリーパック)の取扱について
充電電池は以下のことをお守りいただく場合があります。
充電電池を過熱させないでください。
充電電池の温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電できません。
充電電池以外では充電しないでください。
本機以外の機器に取付けないでください。
火の中に入れたり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。
端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネジ、ナットやペン先などの金属類と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
液体が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな布で拭き取り、患部に直接の接触を避けてください。
皮膚が赤みや腫れに付いたときは、皮膚に障害を起すおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

警告
使用環境・条件
電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・動作の原因となります。
空港施設、鉄道施設、港、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認の上でご使用ください。
本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について
エアーバック装置の近くは無線機を置かないでください。エアーバック装置が動作したときなど無線機本体に当たって怪我をすることがあります。
機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクホンなどのケーブルを置かないでください。怪我の原因となります。
本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
アンテナストラップは、必ずお守りください。無線機を振り回さないでください。人に当たつてけがを負ったり、物に当たって無線機が破損することがあります。
アンテナストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。怪我の原因となります。
高温になる場所(火のそば、暖房機のもの、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎下の電線など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、燃焼の原因となります。

異常時の処置について
内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いが出るときの場合は故障の原因となることがあります。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いてください。煙が出たら、お買い上げの販売店へご連絡ください。
雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いて、使用をおひかください。

保守・点検
本機のケースは開けずにください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険です。絶対にやめください。

注意
使用環境・条件
テレビやラジオ、パソコンなどの電波が使用しないでください。電波障害を引き起こす可能性があります。
直射日光が当たる場所や車の窓からの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の部品が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
こぼれたり、濡れたり、倒れたりした時、異常な臭いが出たときは、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをACコンセントから抜いて、使用をおひかください。

アンテナを折って目に当たらないようにご注意ください。
ベルトフックに指をささないようにご注意ください。
スピーカー・マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
破損した破損やケーブルを敷いた落下などは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用する時に静電気で耳の故障や電撃ショックを起すことがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないが、スピーカーマイクホンをご使用ください。

長期使用しないときは、電源を切り、電池を外してください。
お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。
イヤホンを使用するときは、電源を入れる前に音響つまみを下げておいてください。電波障害の原因となることがあります。
充電時は必ず充電器を使用してください。充電器は必ず充電器の取扱説明書をお読みください。充電器は必ず充電器の取扱説明書をお読みください。充電器は必ず充電器の取扱説明書をお読みください。

充電器などのオプションを使用する際にはオプションに付属の取扱説明書をご覧ください。
充電器などのオプションを使用する際にはオプションに付属の取扱説明書をご覧ください。

保証書(別添)

この製品は、保証書(別添)が付いております。保証書は必ず「お買い上げ日(販売店名)などの記入をお確かめよう。販売店から取付けたら、内容をよくお読みください。大切に保管してください。
保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
修理を依頼されるときは
「故障かな?と思ったら」(下図)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別添の保証書でお確かめください。また、本機の故障、誤操作、不具合などによって破損した部品や部品交換したために発生した損害などの法的責任につきましては、保証は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・
正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターで修理させていただきます。修理の際にしましては、保証書をご提示ください。
保証期間外の場合は・・・
保証期間外の場合は、保証の対象外となります。修理には別途料金がかかります。修理には別途料金がかかります。修理には別途料金がかかります。

修理を依頼される前には下の表を参照してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、リセットしてください。設定された内容が変更されている場合は、リセットしてください。裏面の「リセット」をご覧ください。

Table with 3 columns: 症状, 原因, 処置. Rows include: 電源が入らない, 音が聞こえない, 表示が点滅する, 送信できない, 相手と通話できない, 相手と通話できない, チャンネルが切り替わらない, 送信できない, 表示部の照明が消えない, 電池がすぐ消費する, 電池の残量表示が正しく表示されない, 何も聞こえないのに受信音が聞こえる, 音が聞こえない.

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
● 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
フリーダイヤル 005-420-7272-87
発信番号が非課税の場合は、0120の後に1186を付けてからおかけください。
<通話料をよくお読みください。おかけ時間のないようにご注意ください。>
携帯電話・PHS一部のIP電話などフリーダイヤルがご利用できない場合は、095-450-6900
FAX 095-450-2368
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜日～土曜日(祭日・弊社休日を除く)
受付時間 月曜日～土曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30
● 修理などアフターサービスについては、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

ご使用前に

- 説明上の表記表記について
このマークが付いた注釈は、使用上の注意事項が記載されています。
このマークが付いた注釈は、使用上の補足事項が記載されています。

- ご使用上の注意
通話できる距離は地形や周囲によって大きく異なりますが、必ずしも次のようになります。(建築物が密集した地域や、自動車などの金属物の周囲では、通話できる距離が短くなります。)
市街地:100～200m
通過性の高い場所:1～2km
通信相手の特定小電力無線機が本製品以外の場合相手無線機の設定は下記のとおりしてください。
運用モード:交互通話モード(シフトロック)
ボイスアラーム機能:OFF
本機はIS 保護等級2 防漏2型相当の仕様(端子カバー密閉時)ですので、多少の水漏がかかっても使用できます。ただし、雨の中での使用や、液体につけて使用されるなどの原因となります。水分が付いたときは、ただちに乾いた布でよく水を取ってください。端子カバーを外しているときや、外部スピーカー/マイク接続端子にオプションのスピーカーマイクホンなどが接続されているときは、防漏になりません。
激しい振動、雨、粉塵がある環境では使用しないでください。

- 電波法に関するご注意
本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、特定小電力トランシーバーです。本機裏面の技術基準適合証明ラベルが貼って使用することは、電波法により禁止されています。
本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
他人の通信を聞いてこれを盗らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

本機の付属品
付属品が全て揃っていることをご確認ください。
ベルトフック.....1
保証書.....1
取扱説明書(本書).....1

電池について
アルカリ乾電池(第3形3本・4.5V)、または別売品の専用充電式バッテリーパック(LPB-5N)を使用してください。

使用する電池の種類設定
使用する電池の種類によって、設定を変えてください。メニュー→「リセット」→「種類設定」(画面) お買い上げ時の設定は「アルカリ乾電池」です。電池と設定が合っていないと、下記の電池残量表示が正しく表示されません。

電池の残量表示について
電池の残量のめやすを3段階で表示します。1個点灯になると、警告音「ピーピーピー」が約1分毎に繰り返し鳴り、バッテリー容量が低下していることをお知らせします。早めに電源を切り、新しい第3形アルカリ乾電池と交換するか、バッテリーパックを充電してください。

- 3個点灯
2個点灯
1個点灯

電池の使用可能時間のめやす
アルカリ乾電池使用時
使用条件 バッテリーセーブ(on)
内蔵スピーカー使用時 50時間
イヤホンマイク使用時(EMC-3) 60時間

バッテリーパック LPB-5N 使用時
使用条件 バッテリーセーブ(on)
内蔵スピーカー使用時 17時間
イヤホンマイク使用時(EMC-3) 20時間

※測定条件:
送信6秒/受信6秒/待受時間48秒の繰り返し(送信出力10mW、空室25℃)
※電池の使用可能時間は周囲温度や音質、電池の種類などの使用条件により変動します。

バッテリーセーブについて
電池の消耗をストップ機能です。待ち受け状態で数秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作をするとバッテリーセーブ機能は解除されます。
※バッテリーセーブはグループ番号設定中やメニュー設定中、モニター中、オートチャンネルセレクト中は動作しません。

- 充電電池の特性について
充電/放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
使用せずに置いておくだけでもわずかながら充電電池の劣化が進みます。
高圧状態で充電/放電したり、トランシーバーを使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に入れておかないでください。
充電電池を高圧状態で放置すると使用できなくなります。充電電池が冷たしてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようにします。
長期保存後は、バッテリー容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。

- 電池に関するご注意
電池は、使い方を誤ると破裂や漏液、液もれ、故障の原因となります。必ず次の注意事項をお守りください。
指定以外の電池は使用しないでください。
火の中へ投げ込まないでください。
長時間使用しないときは、電池を本機から取り出してください。
電池の端子をショートさせないでください。
電池を分解しないでください。

使用済み充電電池の取扱注意事項
プラスチック、マイクス端子、マイクス端子をテープなどで絶縁してください。
破棄をしないでください。
分解しないでください。

アンテナを立てる
電波が弱いときなど、必要に応じてアンテナを垂直に立てて使用してください。



電池カバーを入れる
電池カバーを開ける前に、アンテナを立てておきます。
1 本体を持ち、指でアンテナを外し、電池カバーを外す



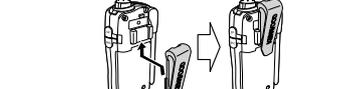
電池ケースのナーの表示に従って電池を入れる
2 電池ケースのナーの表示に従って電池を入れる
アルカリ乾電池 LPB-5N
電線端子

※電池は+端子側を先に入れてください。
※LPB-5N用逆起防止機構を設けていますが、反対向きに無理に差し込むと、無線機が故障することがあります。

3 電池カバーのツメを本体の凹部に入れてカバーを閉め、ロックする



ベルトフックを取り付ける
付属のベルトフックは縦向きに取り付けます。ベルトフックの裏のガイドを本体背面のスリットに合わせて、「カチン」と音がして完全にロックするまで倒へライドさせてください。



ベルトフックの取りはずし
ベルトフック上部のロック解除レバーを押し下げ、ベルトフックを本体下部からスライドさせます。ベルトフックのガイドが本体のスリットから外れたら、ベルトフックを取り外すことができます。



オプションを接続する
オプションを接続するときは、電源を切ってください。
オプションを接続しているときは、防漏になります。
防漏防止のため、プラグを取るときは、プラグ部を持って取りはずしてください。

- 1 端子カバーを開く
2 オプションのプラグをスピーカーマイク端子に接続する



ストラップを取り付ける
別売品のネックストラップS8-4や市販品のストラップを取り付けるときは、トランシーバー背面上部のストラップ用を使用してください。



※ストラップを持って本機を振り回したりしないでください。故障やけがの原因となります。

オプション一覧
本機用として下記のオプションが用意されています。
UCM-100 コントロールマイクホン★
(UCM-100は無体で使用できません。UH5-1、UH5-2、UH5-2と組み合わせてご使用ください)
UH5-1 イヤークリップタイプイヤホン
UH5-2 アコースティックタイプイヤホン
UH5-3 カナルタイプイヤホン
UH5-GI プラホタイプイヤホン
EMC-3 イヤホン付きクリップマイクホン
EMC-11 イヤホン付きクリップマイクホン
EMC-12 イヤホン付きクリップマイクホン(国産タイプ)★
EMC-5F イヤホン付きクリップマイクホン(マイク感度切り替え付)★
RH5-21 ヘッドセット(PTTスイッチ無しのシフトタイプ)★
RH5-35F ヘッドセット(国産タイプ)★
HMC-3(G) ヘッドセット(感度調節VOX付きVOX機能内蔵)★
SMC-34(G) リモコン対応ワイヤレス送信スピーカーマイク内蔵
UPB-5N ニックル水素電池(リチウムイオン)
UBC-2(G) ツインチャージャー
UBC-4 シングルチャージャー
SB-4 ネットストラップ(セルフタイプ機構付)
USC-3(G) キーリングケース

- 本機にはVOX機能があります。VOX機能を使用したいときは、VOX機能の内蔵されたHMC-3(G)を接続してください。(VOX機能とは、「PTT」を抜き、マイク、オプションのマイクホンに向かって話すだけで自動送信される機能です。)
●PTTホルドル機能をオプションに使用するとき、オプション一覧の★マークのオプションを使用してください。★マーク以外のオプションを接続すると、PTTホルドルで送信しても音声は相手へ伝わりません。
●本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。

仕様
チャンネル数シンプルモード 20ch (9+11)
使用周波数帯400MHz帯
送信出力10mW
電波方式F3E
外部低周波出力90mW以上(8Ω負荷、10%歪)
電源電圧DC4.5V
使用温度範囲10℃～+50℃
外形寸法(突起含まず)幅55.5高さ103.9奥行26.0mm
本体質量(重さ)約170g*

*アルカリ乾電池・ベルトフックなし

※仕様は予告なく変更することがあります。

各部の名称と機能



- 1 【PTT】送信キー**
送信するときを押します。離すと待ち受け状態になります。
- 2 【▲】【▼】キー**
【▲】: チャンネル番号が上がりします。
【▼】: チャンネル番号が下がりします。
● メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。
- 3 音量つまみ**
右に回す: 音量を大きくします。
左に回す: 音量を小さくします。
- 4 【0】キー**
押す(0.5秒以上)ごとに電源が入ったり/切れたりします。
- 5 【MENU】キー**
■ 押すとグループ番号設定を表示します。
■ 押しながら電源を入れたとき、メニューを表示します。
■ 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明	
	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。<送信アイコン>
	受信中に表示します。<受信アイコン>
	PTTホルダーが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

操作のしかた

- 通信操作**
- 1 【0】を押す(0.5秒以上)**
電源が入り、チャンネル番号が表示されます。
 - 2 音量つまみを半分くらい右に回す**
 - 3 【▲】【▼】を押して通信するチャンネル番号に切り替える**
【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。
【▼】を押すとチャンネル番号が下がります。
 - 4 【▲】または【▼】を押し続けると、押し続けている間連続してチャンネル番号が切り替わります。**
 - 9チャンネルと通信する場合**
h1~h9に合わせます。
 - 11チャンネル機と通信する場合**
1~11に合わせます。
 - 4 【PTT】を押しながら話す**
<送信アイコン>が点灯し、送信状態になります。
 - 5 話し終わったら、【PTT】から指を離す**
待ち受け状態になります。
受信するとき<受信アイコン><電波メーター>が点灯します。
- マイク部分から口を5cmくらい離してお話しください。
- 6 話し終わったら、【PTT】から指を離す**
待ち受け状態になります。
受信するとき<受信アイコン><電波メーター>が点灯します。
- 音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
<電波メーター>のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

- 6 手順4と5の操作を繰り返して、通信するトランシーバーを使用しないときは【0】を押す(0.5秒以上)電源を切ります。**
- 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
 - トランシーバー間の距離が近い(10m以内)とfh7と11、fh8と21、fh9と31のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが同時に通信する場合も、同一チャンネル(h1)~h9または1~11チャンネル内で通信するが、グループ番号を設定して通信を継続してください。
- 通信時間の制限**
本機の1回の通信時間は、送信・受信を合わせて3分です。通信終了の30秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「1」として数字が残り3分を経過すると送信禁止音(ブザー)とともに送信を停止し、待ち受け状態に戻ります。続けて通信するときは、送信停止2秒後に【PTT】を押して相手呼び出してください。

- グループ番号の設定**
- 他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、と混信がなくなって快適な会話ができます。
- 1 【MENU】を押す**
グループ番号設定画面になります。
 - 2 【▲】または【▼】を押す**
グループ番号が切り替わります。
設定範囲
off、1~38
● 【▲】または【▼】を押し続けると、押し続けている間連続してグループ番号が切り替わります。
 - 3 【MENU】を押す**
または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。
- 他のグループと同じチャンネル番号を使用している場合、音声が聞こえなくても受信状態になり、<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブザー」と鳴って送信できません。
 - パッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、パッテリーセーブ機能が自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、パッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅表示することがあります。

- オートチャンネルセレクト**
- 自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。大抵のチャンネルで【PTT】を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定された送信になります。
- オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。
 - ◆ グループ番号の設定: 1~38
 - ◆ オートチャンネルセレクトキー設定「on」(「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき))
 - ◆ リモートキー設定「on」(「REM」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき))
- 本機の【▲】、【▼】を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。
- 2 【PTT】を2~3秒押し続ける**
空いているチャンネルで10秒ほど停止します。停止中に【PTT】を押したまま通常よりゆっくり押し続ければ、待ち受け状態になります。
 - 3 <受信アイコン>が消えたら、【PTT】を押して応答する**
 - 4 本機の【▲】、【▼】、【MENU】を押す、または、オプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す**
表示しているチャンネルを待ち受け状態に戻ります。
- 10秒以内に反応していただき、10秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。
 - ◆ オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするときスキャンが一時的に停止し、チャンネルをモニターできます。
 - ◆ グループ番号が「off」のときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

- モニター**
- 電波が弱いときにスケルトン(雑音消去回路)を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。
- モニターする**
- 1 【0】を押す、一度電源を切る**
 - 2 【▼】を押しながら【0】を押して、電源を入れる**
スケルトンが開いて、<受信アイコン><電波メーター>が点灯します。
- 信号を受信していないときは「ザー」という雑音があります。音量レベルを調整するときのみやすにもできます。

- モニターを解除する**
- モニター機能を使用するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、「ザー」というノイズを大きい音量で聞くに耳に障害を受けることがあります。
- オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は**
(リモートキー設定「REM」を「on」に設定してください。)
- 1 オプションのリモート対応マイクロホンの【1】を押す**
押し続けている間スケルトンが開きます。

- コールトーン呼び出し**
- 相手を電話の呼び出し音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。コールトーンは6種類から選択できます。また、4種類のプロディーツームも選択できます。
- 本機のキーでコールトーン呼び出しをするとき
- 1 【PTT】を押ししたまま【▲】を押す**
押ししている間コールトーンが送信されます。
- オプションのリモート対応マイクロホンのキーを押して、コールトーン呼び出しをするとき
- リモートキー設定「REM」を「on」に設定しておきます。
- 1 オプションのリモート対応マイクロホンの【3】を押す**
押ししている間コールトーンが送信されます。
- 【PTT】を押ししたままリモート対応マイクロホンの【3】を押しても送信されません。

- キーロック**
- 間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。
- キーロックに連動して表示を消すこともできます。(「チャンネル非表示設定」)

- キーロックをする**
- 1 【MENU】を「キーロック長押し時間」で設定した時間以上押す**
キーロックが動作します。キーロック中は「LoC」が点灯します。
- キーロックを解除する**
- 1 【MENU】を設定した時間以上押す**
キーロックが解除され、「LoC」が消灯します。

- キーロック中でも以下のキー操作はできます。
- 【0】(電源入/切)
 - 【▲】、【▼】、【0】(オールリセット)
 - 【▼】、【0】(モニター)
 - 【PTT】(送信)
 - 【PTT】+【▲】(コールトーン送)
 - オプションのリモート対応マイクロホンの【1】(モニター)
 - オプションのリモート対応マイクロホンの【3】(コールトーン送)
- キーロックに連動して表示を消すこともできます。(「チャンネル非表示設定」)

操作のしかた(続き)

- メニュー**
- 各機能の設定をします。
- メニューの操作**
- 1 【0】を押して、一度電源を切る**
 - 2 【MENU】を押しながら【0】を押して、電源を入れる**
メニューの設定画面が表示され、設定項目が点滅します。
 - 3 【▲】または【▼】を押す**
押すごとに設定項目が切り替わります。
 - 4 【MENU】を押す**
設定値が点滅します。
 - 5 【▲】または【▼】を押す**
設定値を選択します。
 - 6 【MENU】を押す**
設定値が確定して、設定項目選択に切り替わります。
 - 7 【MENU】を1秒以上押す**
メニューが終了します。
 - 【PTT】を押しても終了します。

設定項目一覧

表示	設定項目	設定値	初期値
bEP	ビーブ音	off/on	on
bty	バッテリー種別	AL/ni	AL
APo	オートパワーオフ	off/on	off
SCn	オートチャンネルセレクトキー(本機)	off/on	off
ti	送信禁止	off/on	off
Phd	PTTホルダー	off/on	off
Rrt	PTTホルダー自動復帰	off/on	off
Ctn	コールトーン音色	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10	1
ScL	スケルトンレベル	off/1/2/3	2
Lld	ラウドネス	off/on	off
SAV	パッテリーセーブ	off/on	on
REM	リモートキー	off/on	off
LoC	キーロック長押し時間	1/2/3/4/5	1
C-	チャンネル非表示	off/on/LoC	off
blt	バックライト動作	off/ACU/Any/on	ACT

ビーブ音設定

キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音といいます。この機能を「off」に設定すると、このビーブ音を鳴らさないようになります。

- off ビーブ音は鳴りません。
- on ビーブ音が鳴ります。

- 以下の警告音、予告音などはビーブ音を「off」に設定しても鳴ります。
 - 通信時間制限予告音
 - オートパワーオフ警告音
 - 送信禁止音
 - コールトーン
 - バッテリー減電圧警告音

- バッテリー種別設定**
- 使用する電池の種類を設定します。
- | 設定項目 | 説明 |
|------|------------------------|
| AL | アルカリ乾電池を使用するとき |
| ni | バッテリーパック UFB-N を使用するとき |
- 設定値を選択するときは、使用する電池の種類に合った設定をしてください。誤った設定をすると、電池の残量表示が正しく表示されません。
- オートパワーオフ設定**
- この機能を「on」に設定すると、1時間59分の間キー操作をしない場合、電源を切り忘れたとみなして警告音を鳴らします。さらに同じ状態が1分間続くと「APo」と点滅表示して自動で電源を切ります。トランシーバーの電源を切り忘れ忘れ忘れたときの、電池の消耗を防ぎます。
- off オートパワーオフ機能が動作しません。
 - on オートパワーオフ機能が動作します。
- オートチャンネルセレクト中は、オートパワーオフ機能は動作しません。
- オートチャンネルセレクトキー設定**
- この機能を「on」に設定すると、本機の【▲】、【▼】を1秒以上押して、オートチャンネルセレクトができます。
- off 本機の【▲】、【▼】ではオートチャンネルセレクトは動作しません。
 - on 本機の【▲】、【▼】でオートチャンネルセレクトが動作します。

- 送信禁止設定**
- 【PTT】を押しても送信させない機能です。トランシーバーを受信専用で使用するときなどに設定します。
- off 送信動作を許可します。
 - on 送信動作を禁止します。
- PTTホルダー設定**
- 通話は送信するときは【PTT】キーを押し続けますが、本機能を「on」に設定すると、【PTT】キーを一度押しっぱなし【PTT】キーを離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】キーを押します。
- off 【PTT】キーを押し続けると送信状態になり、【PTT】キーを離すと待ち受け状態になります。
 - on 【PTT】キーを押すと送信状態が継続され、再度【PTT】キーを押すと待ち受け状態になります。
- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。
- PTTホルダー自動復帰設定**
- 【PTTホルダー】が「on」に設定されている場合、通信時間の制限により1分送信が終了しても、送信休止時間(2秒)後に自動で送信を再開する機能です。
- off 自動で送信は再開しません。
 - on 自動で送信を再開します。
- 送信休止時間経過後、使用チャンネルに受信信号がある場合は、送信は再開しません。
 - 送信休止時間の間にキー操作があった場合は、送信は再開しません。
 - PTTホルダー設定「Phd」が「off」のときは、PTTホルダー自動復帰は動作しません。

- コールトーン音色設定**
- コールトーンとして送出する音色を変更できます。
- | 設定項目 | 説明 |
|------|-------------|
| 1~6 | コールトーン1~6 |
| 7~10 | プロディーツーン1~4 |
- スケルトンレベル設定**
- スケルトン(雑音消去回路)を開(解除)か閉(解除)されるレベルを設定します。スケルトンレベルを下けると、強い電波でも受信しやすくなりますが、雑音(「ザー」という雑音)が多くなります。逆に、スケルトンレベルを上げると雑音は少なくなります。強い電波が受信しやすくなります。
- off 常に受信状態になります。(即時モニター)。
 - 1/2/3 数値を下げると、強い信号でも受信状態になります。数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。
- グループ番号を設定している場合は、「スケルトンレベル」が「off」に設定されていても、グループ番号が一致する信号を受信しませんが、スケルトンは解除されません。

- ラウドネス設定**
- 音量つまみを回して音量を大きくしても、相手の声が小さくて聞きとれない場合は、ラウドネスを「on」にする、と本機のスピーカー音量がより大きくなります。
- off ラウドネス機能は動作しません。
 - on ラウドネス機能が動作します。
- 「on」に設定すると、「LOUD」が表示されます。
- パッテリーセーブ設定**
- 電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとパッテリーセーブは一時的に解除されます。
- off パッテリーセーブ機能が動作しません。
 - on 待ち受け状態後約5秒間キー操作がないと、パッテリーセーブ機能が働きます。
- パッテリーセーブ「on」設定時は、消費電力を抑える動作を繰り返しているため、受信音の聴き取りが鈍ります。音質の劣化が気になる場合は、「off」に設定してご利用ください。
 - パッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、パッテリーセーブ機能が自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、パッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅することがあります。
 - モニター中やオートチャンネルセレクト中は、パッテリーセーブ機能は動作しません。

- リモートキー設定**
- オプションのリモート対応マイクロホンのリモートキー【1】、【2】、【3】の動作を設定する機能です。
- off マイクロホンのリモートキーは動作しません。
 - on マイクロホンのリモートキーが動作します。
- リモートキー設定が「on」のときは、以下の機能が動作します。
 - ◆ リモートキー【1】: モニター
 - ◆ リモートキー【2】: オートチャンネルセレクト
 - ◆ リモートキー【3】: コールトーン呼び出し

- キーロック長押し時間設定**
- 【MENU】を押してキーロックが動作/解除するまでの時間を設定できます。
- | 設定項目 | 説明 |
|------|-------|
| 1~5 | 1秒~5秒 |
- チャンネル非表示設定**
- チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。
- off チャンネルやグループ番号を表示します。
 - on チャンネルやグループ番号は表示しません。
 - LoC キーロック時にチャンネル番号やグループ番号を表示しません。
- この機能を「on」または「LoC」に設定している場合は、チャンネルを切り替えるとき、切り替えたチャンネルを2秒間表示します。電源を入れたときも現在のチャンネルを2秒間表示します。
- バックライト動作設定**
- 表示部照明の点灯条件を設定します。
- | 設定項目 | 説明 |
|------|---------------------------------------|
| off | バックライトは常に消灯します。 |
| Act | 【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。 |
| Any | キーを操作したときや送信を受信/受信するとバックライトが5秒間点灯します。 |
| on | バックライトが常に点灯します。 |

- リセット**
- リセットすると、設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。
- 1 一度電源を切る**
 - 2 【▲】と【▼】を押しながら【0】を押して電源を入れる**
表示が点滅します。
 - 3 【▲】、【▼】のいずれかのキーを離す**
確認画面が表示されます。
 - 4 【PTT】を押す**
設定がリセットされて初期値に戻ります。
- 【PTT】以外のキーを押した場合は、リセットしないで待ち受け状態になります。